

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	日吉紀要「中国研究」創刊にあたって
Sub Title	
Author	関根 謙(Sekine, Ken)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2008
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 中国研究 (The Hiyoshi review of Chinese studies). No.1 (2008. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA12310306-20080331--003

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

日吉紀要「中国研究」創刊にあたつて

「中国研究」は、慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会の発行する「人文科学」など七種の紀要に続く、第八番目の新しい研究誌として誕生した。先行紀要の刊行開始は一九八五年のことだから、二〇年以上も経つてからの遅いスタートとなつたが、日吉キャンパスにおける中国関係の専任研究者の急速な増大と、専門領域の飛躍的な拡大を思うと、まさに満を持した刊行と言うべきだろう。当時わずか二、三名しかいなかつた専任者は、現在四学部二十名に達しようとし、その研究領域は哲学・文学・史学はもちろん、経済学・商学・法学・政治学・社会学・言語学、さらには情報・ジャーナリズム・メディア論にまで一気に大きく展開しているのだ。

日吉紀要刊行委員会は特定分野の学会の枠に捉われない、学問研究の自由な交流の場の提供を各種紀要刊行の目的としている。「中国研究」もその精神を引き継ぎ、それぞれの研究者の所属する学部や学会の壁を越えて、各専門分野の有機的な結びつきと周辺領域への理解をお互いに深めていく活発な研究発表の場としていきたいと思う。現在、日吉では中国語を学ぶ学生が増加の一途をたどり、また学生たちの求めるものも実に多様になつてきていて、本誌刊行がこうした現実の教育の要請に応える一助となることができれば幸いである。

「中国研究」はちょうど慶應義塾大学創立一五〇年という記念すべき節目に創刊されることとなつた。この激動の歴史に、義塾は輝ける業績を残してきたが、それを支えてきた力こそ、独立自尊に象徴される誠実な学問研究と、権力に阿ることのない自由な精神であることは言を俟たない。この意義深い年における創刊にあたり、義塾の学の伝統に思いを新たにし、本誌が現代の課題に熱く応えていくことを心より祈りたい。

最後に、各方面・各分野の研究者の皆様に、本誌へのご助力と忌憚のないご批判ご助言を切にお願いして、創刊の言葉としたい。

一〇〇八年三月

慶應義塾大学日吉紀要「中国研究」編集委員会

閻根謙